

年	月 日	村 政	産 業	川井村産業 開発公社
昭和30年 (1955年)	7月1日	川井、門馬、小国の3村が合併し 川井村発足 村長職務執行者に菅原長之助氏 就任		
	8月17日	村長に前川秀男氏就任		
昭和31年	2月5日	役場庁舎落成移転		
昭和33年	4月		川井村農業協同組合発足	
昭和36年	2月		川井村商工会設立	
	3月		葉タバコ栽培はじまる	
	5月29日	三陸フェーン大火		
	12月	テレビ川井(加入者72人)		
昭和38年	1月	区界スキー場ヒュッテ完成		
	8月	村長に下総由己氏が就任		
昭和40年	8月1日	川井村森林組合が発足		
	9月	村財政が初めて黒字となる		
	11月		宮古下閉伊地区食肉処理組合 が発足	
昭和41年	12月16日		肉用牛禁食センターが開所	
昭和42年	7月	村が山村振興法の指定を受ける		
昭和43年	4月	山村振興事業がはじまる		
昭和44年	4月	陸中衛生処理組合が発足		
	4月	北上山系開発はじまる		
	5月		霜被害で小国地区の桑が全滅、 門馬地区の苗代被害	
昭和45年	10月7日	国道106号大峠トンネルが開通		
	10月30日	農免林道小田越線が開通		
昭和46年	1月	宮古高校川井分校の全日制昇格 が決定(生徒数167人)		
	4月		米の生産調整はじまる	
	8月16日	村長に前川秀男氏が就任		
	9月10日		区界高原レストハウスが完成	
	10月		種牛牛集中管理所が完成(26頭)	
	12月		葉タバコが6000万円で牛の所得 を上回る	

昭和48年	1月		江繫にシチズン時計の部民工場、岩手精密が操業開始	
	6月1日		早池峰山荘が落成	
	7月16日	北上山系事業計画を発表。 70億円の開発プラン。		
	12月22日		葉タバコが1億円を突破	
昭和49年	1月		区界高原が自然景観保護地区に指定	
	5月		誘致企業の丸三ニット小国工場が操業開始	
	7月		区界高原まつりを開催	
	4月25日		川井村特産品推進協議会が設立	
	7月1日		盛岡市立区界高原少年自然の家が落成	
昭和51年	1月		50年産葉タバコが2億4000万円を達成	
	3月1日		川井、門馬両農協が合併し川井農協が発足	
昭和51年	9月29日		北上山系開発が始動、農用開発公団が川内に事務所を開く	
	9月		冷害被害が拡大、門馬地区の米は収穫皆無	
	11月29日		川井村商工会館が落成	
昭和52年	1月9日		区界のスケート場開く	
	4月		区界観光開発公社が創立	
	11月22日		農用地開発公団事務所が川井に移転	
	12月		区界にリフト付きの新スキー場がオープン	
昭和53年	8月		区界スケート場に釣り堀がオープン	
	12月		横沢冷泉静峰苑がオープン	
昭和54年	1月17日		第1号、人工授精による日短角種の子牛が生まれる。 (箱石)	

	3月22日		53年産・葉タバコが3億円を達成	
	12月		誘致企業の大宝織物川内工場が操業開始	
昭和55年	9月	国道106号に川内に公衆トイレが完成		
昭和57年	10月1日		誘致企業のタツミソーイング川井工場が操業開始	
	12月		大規模宿舎(田代農場)が去石に完成、226頭でスタート	
	12月	初の村営住宅が区界に20棟完成		
昭和58年	4月		貯蔵野菜予冷施設が区界に完成	
	7月24日	村長に野口進氏が就任		
昭和59年	2月		シドケの超促成栽培が全国ではじめて古田地区と襲岩地区で取り組み成功	
昭和60年	9月7日	合併30周年記念式典		
昭和61年	2月12日			川井村産業開発公社が設立
	2月		川井村バンガロー村を開設	
	5月		アカバネ病で短角牛357頭が被害	
	10月		肉用牛振興緑基金パイロット事業で短角牛の産直がスタート	
昭和62年	3月2日		農業協同組合の宮古・下閉伊地区5市町村が合併し「岩手宮古農業協同組合」となる。	
	4月24日			岩手区界中継基地「ビーフビレッジ区界」とロードサイドパーク川内「もうもう亭」がオープン
	5月15日		門馬放原組合、黒沢地区育成牧場を開設	
	7月24日	村長に原眞氏が就任		

	7月			川井村産業開発公社で新製品「ペリーーラと「なにくそくん」を開発
	8月2日		川井村発「岩手短角ロードの祭典」を開催	
昭和63年	9月1日		目黒雅叙園漆工芸研究所が旧箱石小学校に開所	
	12月27日	タイマグラに電灯がともる		
平成元年	3月18日	川井ふるさと会が東京で結成		
平成2年	8月5日		ミスかすみそうコンテストが行われる	
平成3年	3月19日		きのこセンターの落成式	
	9月6日		全日本第4回日本短角牛種総合共進会の経産牛の部(二産以上)の部で前川作右エ門氏の「ひでなみ」が優秀賞、坪井昴喜氏の「ゆきひめ」が優良賞を受賞	
平成4年	6月26日		第3セクターの株式会社ウツティかわいが設立	
	9月19日		第1回川井村まいたけまつりを開催	
	10月12日			鈴久名に塩蔵加工施設が完成
平成5年	1月22日		誘致企業の阪神工機と村が工場立地協定	
	2月8日		株式会社ウツティかわいの社屋が完成	
	4月22日			道の駅「区界高原」が誕生、初登録県内3カ所の1つ
平成6年	3月		タイマグラキャンプ場がリニューアル	

	4月11日		誘致企業の株式会社西和賀テークィアールと工場立地協定	
	5月18日		川井村国産材需要開発センター「薬師塗漆工芸館」が落成	
	6月12日	西塔幸子記念館が落成		
	11月1日	川井村北上山地民俗資料館がオープン		
平成8年	7月30日		区界高原ウォーキングセンターが落成	
	8月4日			道の駅「区界高原」インフォメーションセンターが開所
平成9年	3月1日		岩手宮古農業協同組合が岩泉、田野畑村を加え7市町村に	
平成10年	3月23日		宮古地域農業改良普及センターの川井駐在所が開所	
平成11年	4月25日			やまびこ産直館がオープン
	7月20日	村長に道又邦彦氏が就任		
平成12年	4月29日		第1回川井村山菜まつりを開催	
	9月16日		ハート106 やまびこフェスタ、南部木挽唄全国大会を開催	
平成13年	8月29日		木の博物館推進委員会が発足、木の博物館事業が始動	
平成14年	3月23日			郷土食とファーストフードの「ヤッホー館」がやまびこ産直館隣にオープン
	9月29日		区界高原だいこん祭りを開催	
平成15年	12月9日		三陸北部森林管理署と村が木の博物館事業で「悠々の森」協定書を締結	
平成16年	1月30日		株式会社ウツティかわいが国内初の木材保存処理技術で木材利用	

			技術開発理事長を受賞	
	10月28日		株式会社ウツティかわいの蟹岡工場が落成	
平成18年	2月2日		三陸北部森林管理署と村が木の博物館事業で「古代の森」協定書を締結	
	5月22日	合併に関する地区懇談会の開催 (～30日まで6地区)		
	10月13日		木の博物館開館式	
平成19年	7月4日	村長に内館勝則氏が就任		
	11月28日	宮古市長、宮古市議会議長に対して「合併に関する事務レベルの検討会設置」を申し入れ		
	12月3日	「宮古市・川井村合併に関する検討会設置」		
平成20年	2月4日	合併に関する地区説明会の開催 (～18日まで21地区)		
	7月30日	「宮古市・川井村合併協議会」設置		
平成21年	5月28日	合併協定調印式		
	6月12日	宮古市と川井村の両議会が合併関連議案を可決		
	10月26日	岩手県知事が宮古市と川井村の合併を決定		
	11月10日	総理大臣が宮古市と川井村の合併について告示		
	12月19日	閉村記念式		
	12月28日	閉庁式		
平成22年	1月1日	新「宮古市」誕生		

【資料】広報「かわい」収縮版

「悠久の森を語り継ぐ 岩手県川井村 54年の終章 2009」 2009年12月19日 発行 岩手県川井村